

## 能登半島地震 石川地区の状況について(2024年1月9日)

(報告:石川地区 片岡)

1月4日以降の能登半島地震の被災地状況、支援状況についてご報告します。

1月5日(金)

七尾幼稚園より断水により片づけが進まないとのことで、水タンク20個(計300L)を運搬。ほか必要な支援物資の確認をしてきました。

1月6日(土)

七尾教会信徒、金沢教会信徒数名、司祭チームメンバーの計10名の協力によって、七尾教会の片付けを実施。聖堂、香部屋、司祭館兼信徒の交流の場としてつかっている台所、居間などを、2時間ほどで概ね片付けを完了することができ、翌日からのミサ等で集える状況を整えました。

1月7日(日)

早朝から ERST 緊急対応支援チームのメンバーをはじめ、カリタスジャパンの担当司教である成井司教様、そして松浦司教も同行でき、七尾と輪島の各幼稚園からの要望された水をはじめ、園を再開するために必要な救援物資を届けると同時に、現地視察を実施しました。

午前中は七尾幼稚園の園長、主任先生と情報共有をおこない、七尾教会で主日ミサをささげ輪島へ。道路状況が心配されましたが、なんとか七尾から2時間半ほどで輪島に到着。クルマ3台にめいっぱい積んだ救援物資を届けることができました。

先日の第一報で輪島の園長先生から送られてきた写真で想定していた以上に、実際に教会建物、司祭館は壊滅的な状態を感じました。幼稚園の園舎は今のところ大きな被害は確認されていませんが、水道はもちろんのこと、電気もまだ幼稚園までは復旧していない状態です。そのため、もうしばらく休園せざるを得ない状況にはなっていますが、避難生活を余儀なくされている子どもたちの居場所を確保するためにも、いつでも迎えられる準備を頑張っておられます。孤立する被災地であって、園長先生も大変心細さを感じておられたと思います。今回の物資とともに、司教様方やERSTのメンバーの訪問は、わたしたちがいる安心感を届けられたのではないかと思います。

本当はもう少し被災地の様子や、信者さんの顔も見に行けたら良かったのですが、雪の降り方が強くなり、道路路面の隆起や亀裂による凸凹状況が見えなくなると困るので、今回は早々に撤収の決断をせざるを得ませんでした。まずは、輪島まで無事に物資を届けることができ安堵しています。

1月8日(月)

午前中に前日の現地視察を終えて、ERST 緊急対応支援チーム、カリタスジャパン成井司教、松浦司教、石川地区司祭チーム、カルメル会今泉神父を交えて、今後の対応について協議(松浦司教報告)午後、七尾幼稚園へ追加の支援物資の運搬、またサポートセンター開設にむけての現地調整を実施。

以上

1月5日 七尾幼稚園 水タンク運搬



1月6日 七尾教会片づけの様子





1月7日 ERST 緊急対応支援チームとの七尾と輪島への救援物資運搬、現地視察。

七尾、輪島各幼稚園からの要望による救援物資



七尾・聖母幼稚園での先生方の情報共有



七尾教会主日ミサ(七尾信徒8名参加)



先回辿り着けなかった、穴水から輪島までの道の状況。





輪島駅前(教会の下までは電気は来ている)



輪島教会 駐車場もかなり隆起、亀裂が入っている。



↑ 聖堂建物  
← 聖堂に隣接する司祭館のある建物(旧聖母園)

園舎に救援物資搬入





電気が来ていないので、暗くて寒い建物の中で園長先生と情報共有



1月8日 ERSTとの今後に向けての対策会議

